

HBs 抗原		2241000		
		担当部署		
HBsAg 定量		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダー手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		HBs 抗原にアミノ酸変異を持つ検体と組換え抗原の合計 33 例について測定したところ、33 例中 31 例が陽性で、2 例が陰性でした。陰性であった 2 例は、2 か所の変異 (T116N/D144G) または 3 か所の変異 (Q129L/G130R/M133T) がある検体でした。最も一般的であるワクチンエスケープ変異 G145R については陽性となりました。 ルミパルス HBsAg-HQ 添付文書		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 固形物 4) 粘性のある検体		

保管検体の保存期間	冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)					
<b>検査結果・報告</b>						
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間	当日中～翌日					
生物学的基準範囲	設定なし					
臨床判断値	陰性：測定値が 0.005 I U/mL 未満を示す検体は陰性とする。 陽性：測定値が 0.005 I U/mL 以上を示す検体は陽性とする。 ルミパルス HBsAg-HQ 添付文書					
基準値					単位	IU/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	0.004	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	血清又は血漿中の HBs 抗原の検出(B 型肝炎ウイルス(HBV)感染症の診断の補助)HBs 抗原の検出は、B型肝炎の診断、B型肝炎ウイルス(H B V)感染の診断、B型肝炎の感染予防、母子垂直感染予防等について重要な情報を提供 また、H B V 感染者(キャリア)や既往感染者においては、免疫抑制や化学療法によりH B V が再活性化し B 型肝炎を発症、時に劇症化することがあり治療前のスクリーニング検査が重要視されている。 ルミパルス HBsAg-HQ 添付文書					